

第1問 (配点50点) : 各5点×10

- 問1 ③
問2 ④
問3 (B)
問4 (1) ③ (2) ④ (3) ① (4) ②
問5 (1) ④ (2) ⑥ (3) ①

第2問 (配点50点) : 各5点×10 :

(問2と問3は個別回答)

- 問1 ④
問2 ②と⑤
問3 ③と⑥
問4 ①
問5 ③
問6 ②
問7 ④
問8 ②

第3問 (配点50点) : 各5点×10

- 問1 ④
問2 ⑤
問3 ④
問4 ⑤
問5 ①
問6 ⑤
問7 ⑤
問8 ②
問9 ②
問10 ④

第4問 (配点50点) : 各5点×10

- 問1 ⑤
問2 ⑥
問3 ②
問4 (1) ⑤ (2) ④
問5 ④
問6 ②
問7 ⑧
問8 (1) ② (2) ④

第5問 (配点50点) : 各5点×10

(問1は個別回答)

- 問1 ③と⑤
問2 ④
問3 ④

- 問4 ⑤
問5 ③
問6 ①
問7 ②
問8 ①
問9 ③

第6問 (配点50点) : 各5点×10

- 問1 (ア) ② (イ) ③ (ウ) ⑤
問2 ②
問3 (A) ③ (B) ② (C) ⑤ (D) ④
問4 ③
問5 ⑥

第7問 (配点50点) : 各5点×10

- 問1 (1) ② (2) ④ (3) ③
問2 ③
問3 ①
問4 (1) ④ (2) ⑥ (3) ③ (4) ④ (5) ⑥

第8問 (配点50点) : 各5点×10

(問6は個別回答)

- 問1 ②
問2 ③
問3 ③
問4 ⑥
問5 ①
問6 ②と③
問7 ④
問8 ②
問9 ②

第9問 (配点50点) : 各5点×10

(問2は完全回答)

- 問1 (1) ④ (2) A:③ B:④ C:③
問2 ②と④
問3 A:① B:③ C:④
問4 火星: ③ 木星: ④

第10問 (配点50点) : 各5点×10

- 問1 a:⑤ b:② c:③
問2 a:② b:⑤ c:④
問3 ④
問4 a:② b:⑤ c:①

(第11問は選択問題でいずれかを解答させる)

第11問A (配点50点) : 5点×4 + 6点×5

問1 (6点×3) (ア) ① (イ) ④ (ウ) ⑥

問2 (5点) ㊦

問3 (5点) ④

問4 (6点) ②

問5 ④ < 採点対象から除外

問6 a:④ b:② c:⑤ ; a: 6点, b, c: 5点×2

第11問B (配点50点) : 5点×4 + 6点×5

(問6は個別回答)

問1 (5点) ①

問2 (6点×2) a:⑤ b:⑤

c:① < 採点対象から除外

問3 (5点) ④

問4 (5点) ④

問5 a:④ b:② ; a: 6点, b: 5点

問6 (6点×2) ②, ③

<解答以上>

採点対象から除外した枝間について

第11問A 問5

当該の問題は問4で求めた観測点間での津波の平均速度を表11A.1と比較することで観測点間の平均水深を求めるものでした。編集上の誤植により、参照すべき箇所を問4とせずに問3として指示した問題文になっており、解答に必要な情報が不足しておりました。従いまして、この問題を採点対象から除外することとしました。

第11問B 問2(c)

当該の問題は明るさが全く同一の接触連星を観測した場合に、問1で解答する明るさの変化を参考にして見かけの明るさ(実視等級)がどの程度変化するかを求めるものでした。1等級の差は明るさの差としては約2.5倍であることを利用すれば、明るさの差が2.5倍に満たない場合には等級では1等級差に満たないとして正答にたどり着くことは可能と考えて出題致しました。しかし、関数電卓を与えずに対数的な扱いを強いることは望ましくないことから、この問題を採点対象から除外することとしました。

<以上>